

臨床材料検査報告書

鶴見大学歯学部附属病院

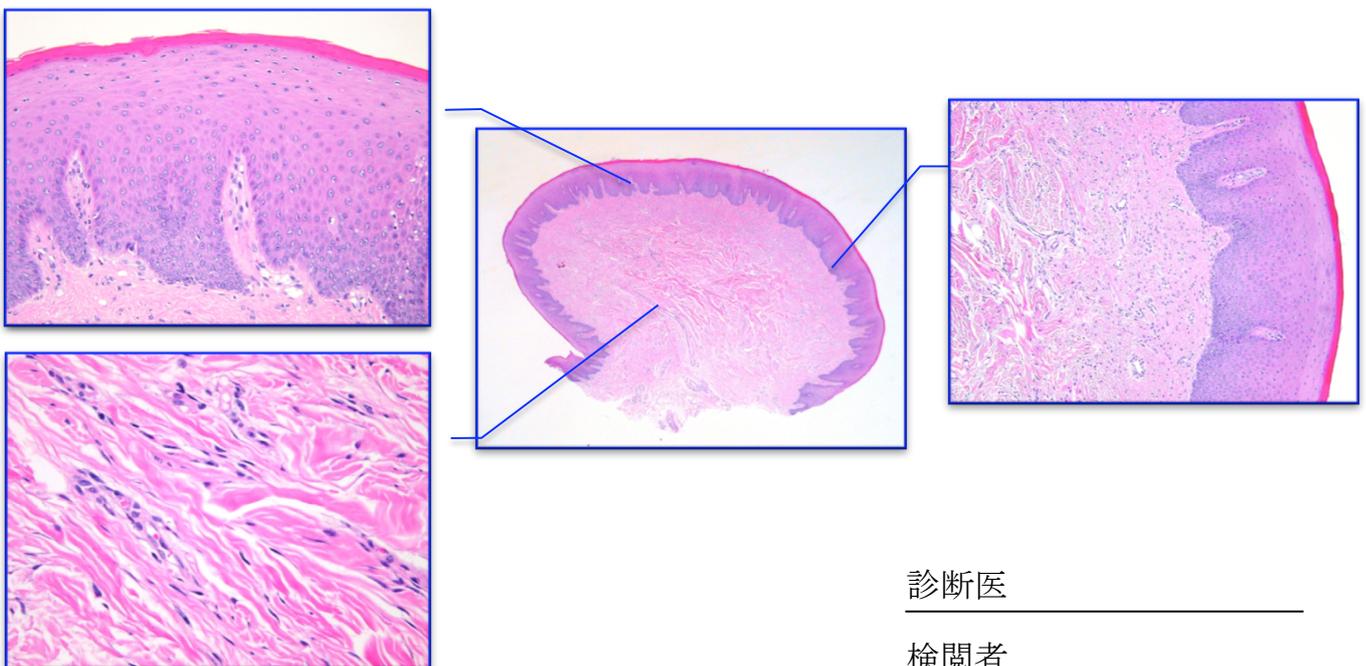
病理検査番号
No. 〇〇〇〇〇

〇〇歯科医院 〇〇 〇〇先生	20〇〇年〇月〇日
患者名 〇〇 〇〇 女 〇〇才	参照材料番号 No.
臨床診断 線維腫	
病理組織診断	Irritation fibroma of palatal mucosa, complete excision

所見. (切り出し図及び極簡単な肉眼所見を含む)

検体は口蓋部より摘出された5 x 4 x 3mm大の隆起性病変、最大断面で検鏡しました。

組織学的には、正角化を伴う重層扁平上皮に被覆された有茎性病変で、本体はわずかに血管を含む線維性結合組織束の錯綜増生が主体となっています。上皮下には軽度のリンパ球浸潤がみられます。切除断端部は脂肪組織に達していることから、病変は完全切除されているものと考えます。悪性所見は認められません。



診断医

検閲者

臨床検査部部長の許可なくして、本報告書を公表することを禁じます。